

【資料 1】

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2016 年度事業報告書

2017 年 5 月



2016 年度事業報告

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

2016 年度金融知力普及協会活動の通信簿

	教育活動	インストラクター	イベント	コンテンツ	財務運営
内容	通信教育 講師派遣 検定試験等	インストラクター制度の充実	エコノミクス甲子園等	従来コンテンツの拡充 等	事務局運営についての 財務状況
数値 実績	通信講座:131件 セミナー参加:449名 検定試験:38件	自前養成セミナー:17名 インストラクター総数:534名 フォローアップ:63名	エコ甲:2,342名 子ども向け:141名	エコノミカ:173個 ブースター:175個 SMAM関連:2,000個	赤字:149万円
評価	△	×	◎	○	△
16年度 概要	セミナー参加者が50%増加している。	低調。養成セミナーなど問い合わせもあったが、実施数までには満たず。	イベントはいずれも非常に盛り上がった。特にエコノミクス甲子園は全国ニュースでも取り上げられた。	引き続き好調。フリーペーパーの準備が大きかった。	寄付金の低下の割には、赤字幅を食い止めることができた。
17年度 戦略	通信教育・検定に関しては現状維持	FinTALKを通じて認知度、プレゼンスを高め、受講者増へつなげる	全都道府県での開催を目指す。	フリーペーパーが収益化される。	黒字転換を目標。

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」など、金融経済教育イベントの規模を拡大し、一定の実績を上げることができております。また、将来の収益につながる新たな事業にも取り組んで参りました。今後はこれまで開催してきたイベントをより活発に展開し、新たな収益事業を育てることが目標です。

2016 年度の事業の経過を総括いたしますと、エコノミクス甲子園等のイベントで成功を収め、各所から好評を得ることができました。しかしながら、スポンサーの撤退が相次ぎつつも、将来を見据え、岩手、熊本、大分での自主開催、中国からの参加者招聘などを行った結果、奨学金の寄付を除いた一般会計では 149 万円の赤字となりました。

2017 年度は、フリーペーパーの発刊と、金融セミナーコンテストの二大新規事業を実施いたします。そのための準備が大きく進んだ 2016 年度であったと評価できるよう、成功に向け活動してまいります。

2016 年度の大きなトピックスとして、金子・森育英奨学基金の設立があります。総額 5000 万円のご寄付をいただき、投資信託での運用も開始いたしました。そのため、一般会計とは別会計として今後管理してまいります。

2015 年度、昨年のジュニア NISA 始動前の特需は 1 年で終了いたしました。その代わりに年表風呂敷が 2016 年度のヒット作でした。こちらは、1 年で終了しない様、継続しての拡販を目指します。

2016 年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 子ども経済塾

従前より夏休みの 3 日間で実施していた川口市子ども経済塾ですが本年も実施いたしました。今回で 12 年目となります。川口市内すべての小学校から 6 年生の生徒が参加し、ライフプランの考え方やお金の管理のしかたなどの金融知力学習を行い、銀行の見学などを実施しました。

また、昨年に引き続き湘南台商店街でも同様の内容での実施があり、反応も上々でした。引き続き実施を目指します。

② 第 11 回エコノミクス甲子園を開催

代々木オリンピックセンターにて第 11 回エコノミクス甲子園の全国大会を開催いたしました。全国 46 会場で地方大会を実施し、インターネット大会代表の 1 チームと、上海代表の 1 チームを加えた 48 の代表チームで競技を行いました。石川大会代表の金沢大学附属高校チームが優勝し、優勝商品として 3 月に NY 研修旅行を実施いたしました。第 11 回大会は全国で 1,171 チーム、2,342 名の高校生が参加をしております。

また、10 回記念奨学金を継続し、金子・森育英奨学基金と改称いたしました。こちらは 2 名の奨学生が選ばれております。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済 TCG エコノミカ ブースターパック」を継続して販売いたしました。16 年度は三井住友アセットマネジメント社が、エコノミカをマスコットとして使用いただき大きな大会を開き、エコノミクス甲子園全参加者に送付するなど、大きな成果をあげました。

④ 金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を 2 回実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「仮認定インストラクターの正式認定」、「資格更新機会の提供」となっております。座学での受講に加え、DVD 受講もできるようにし、全国から 63 名のインストラクターが受講いたしました。

I-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2016年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	130名	116名	1,495名
アドバンスド コース	1名	9名	698名
合計	131名	125名	2,193名

販売数は依然低落傾向です。基本的にはコストをかけず現状維持を目標とします。

② セミナー・研修

2016年度に当協会が主催、受託、講師派遣した主な研修と受講者数は以下の通りです。

研修・セミナー	参加人数
【高島屋】 高島屋商い塾 (6会場)	127人
【協会】 インストラクター関連セミナー (4回)	18人
【NTTグループ】 ライフデザインセミナー (5会場)	275人
【銀行協会】 講師養成	29人
【湘南商店街連合会】 湘若村塾 (小学5.6年生)	25人
【川口市】 川口市子ども経済塾 (小学6年生)	36人
【守谷市児童クラブ】 おこづかい教室	80人

I-3. その他特記事項

① 寄附金

法人からはエコノミクス甲子園関連、総額1,240万円、3万ドルのご寄附を頂きました。

また、個人から5,110万円のご寄付をいただき、そのうち5,000万円は奨学金会計に繰り入れております。

Ⅱ. 財務の状況

2016 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に全件監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

今年度、金子氏、森氏よりご寄附を頂き、新たに金子・森育英奨学基金を設立いたしました。それに伴い、活動計算書を 2 つに分け、奨学基金を特別会計としました。

- ・ 経常収益は合計で、72,297 千円から 67,233 千円への減少でした。
- ・ 事業費は 55,376 千円で、そのうち 12,866 千円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 13,279 千円となっております。そのうち 7,820 千円が人件費です。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用は、昨年の 69,471 千円から 68,656 千円へ減少いたしました。
- ・ 2016 年度の利益は▲1,493 千円となっております。

以上